

「廃棄学校制服の有効活用による衣類ごみ減量化の提案」 いらなくなった学校制服をアップサイクルしませんか！

【アップサイクルの仕組みを構築しました】

1. リユースできずに廃棄される予定の学生服を回収。
2. リサイクル品の原料となる粉碎、反毛綿を作製 ⇒ 不織布、板紙、樹脂シート等に加工。
3. 中学校、高等学校で環境に関する特別授業を行い、生徒たちからリサイクル品のアイデアを募集。
4. リサイクル品の制作に適した福祉作業所で製品化。生徒たちのアイデアを実現。
5. 最終製品(アップサイクル品)を、制服を提供した生徒、学校で思い出の品として活用。

【環境に関する特別授業風景】



【障害者就労支援施設にて作製】

ワークハウス せいらん
KYOTO
就労継続支援事業所

みんなと喜びを共にしたい

皆さんこんにちは、「ワークハウスせいらん」で施設長をさせて頂いて、加藤です。
障害者を取り巻く環境は年々変わってきています。少しずつですが良くなっていくような気がします。しかし、どんなに変わろうが、障害のある人たちが普通に、自分らしく生きていく権利は守っていかなければなりません。「ワークハウスせいらん」も平成30年には設立15周年を迎えます。その時そしてこれからもみなさんと共に歩んでいきます。そんな場所であることを思いながらこれからも進んでいきます。

就労継続支援事業所
ワークハウスせいらん
〒615-8106
京都市西京区川島藤原町4-1 番地3
TEL 075-393-4141
FAX 075-393-8686

【生徒たちのアイデアから生まれた種々のアップサイクル品】



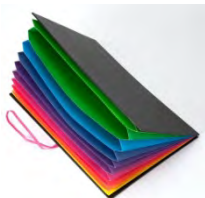
再生フェルトで作製した筆箱



再生樹脂で作製したマグネットバー



再生わた、制服残生地で作製した座布団型防災頭巾



再生板紙で作製したファイルホルダー



再生樹脂シートで作製したキーホルダーマルチケース



【問い合わせ先】

繊維リサイクル技術研究会
委員長:木村照夫

tkimura426@gmail.com

京都市ごみ減量推進会議
助成金事業